

平成元年度総会開かる

本庄高校同窓会平成元年度
通常総会は、去る六月十七日
(土)午後三時より埼玉グランド
ホテル本庄にて開催された。
本年度は竹本禮三、中谷幸次
郎、内野実、三恩師にご出席
を賜わり、各地より参集した
会員の熱心な発言が総会を盛

り上げた。総会終了後のティ
ーパーティーでは本高卒の黒田
隆氏のピアノ独奏及び浦野智
行氏のバス独唱という格調高
い音楽の雰囲気浸ることが
出来た。

総会は立川副会長の会長代
行挨拶ではじまり、竹並副会
長議長となり、議事として

一、昭和六十三年事業報
告並びに収支決算報告

二、監査報告

三、平成元年度事業計画並
びに収支予算案承認

以上の三件が審議され、い
ずれも原案どおり全会一致で
承認された。更に報告事項と
して、神川新支部長及び深谷
新支部長候補者名の発表があ
り、そのあと母校校長新藤格
先生及び恩師を代表して竹本
禮三先生よりご祝辞を頂き盛
会裡に終了した。

立総会が岡同窓会長を始め本
部役員並びに隣接の茂木藤岡
支部部長を来賓に迎え、深谷
地区の同窓生約八十名が参集
して盛大に開催された。

發起人の挨拶、経過報告に
続き議事に入り、支部長に旧
中19回卒の清水実氏が選出さ
れた。同支部は会員約千八百
名を擁する強力な支部で、こ
こにしっかりとした連絡網が確
立したことは、今後の同窓会
活動にとつて計り知れない恩
恵をもたらすものでご同慶の
至りである。

同窓生の数は、現在二万三
千人を超す大世帯となりまし
た。従いまして、同窓会組織
の整備・強化は運営上極めて
重要な課題と云わなければな
りません。それに応えるべく、

親愛なる同窓生の皆様、益
益ご清祥にてご活躍のことと
お慶び申し上げます。

平素、同窓会活動について
深いご理解とご高配を賜り、
有難く厚く御礼申し上げます。
春秋年二回の会報の発行を機
に、懐かしい母校を想いだし
関心を持っていただければ幸
甚に存じます。

本年度深谷支部の改組設立を
お願いし、ここに地域別支部
三十、事業別支部四を数える
ことと相成り、本高同窓会の
更なる発展が予見されます。
同窓会運営の財源となる会費
の納入状況は、一九八九年四
月一日から九月三十日迄に、
終身会費納入者百六十六名、
年会費納入者百七十九名です。
母校愛溢れる真摯なご協力に
心より感謝申し上げます。本
年度実行した顕著な事業とし
ては、九月八日の中高連絡会
があり、これは、同窓会
が媒体となり母校本庄高校と
地元中学校が連絡協議会を開
いて、主として進学について
語り合う場であり、回を
重ねるにしたがつて、逐年成
果が上がつて来ております。
地域社会にとつて大変喜ばし
いことと存じます。

結びに、同窓生各位の一層
のご支援・ご協力をお願い申
し上げると共に、皆様のご発
展とご多幸を衷心よりご祈念
申し上げてご挨拶と致します。

同窓会長 岡 祐 孝
(旧中九回)

本高同窓会報

発行
本庄高校同窓会
会長 岡 祐 孝
事務所 本庄市銀座3-5-8
岡 病院 内



— 深谷支部設立総会の光景 —



ごあいさつ

同窓会長 岡 祐 孝
(旧中九回)

平成元年度 事業計画

事業計画

元年4月	定例役員会	親会
5月	定例役員会	11月 定例役員会
6月	定例役員会	会員レクリエーシ ョン
7月	同窓会会報No.11発行 通常総会開催	12月 定例役員会
8月	定例役員会	同窓会会報No.12発行
9月	定例役員会	2年1月 定例役員会
10月	中高連絡会	2月 定例役員会
	PTA役員との懇	支部長会議
		新年会
		3月 定例役員会
		新会員入会式

母校部活動近況

— 十月末日現在 —

文化部

囲碁・将棋部 (20)

特に対外試合に出場……というところはありませんが、部室などでお互いに対戦し、練習を重ねています。

英語部 (24)

英文文の練習や留学生との交流、テレビを利用しての学習を重ねている。今後は人前での個人スピーチなどにも挑戦していく予定。

化学部 (21)

今年は超電導物質の合成にも成功。文化の部では柏樹祭賞を授賞。部員の士気も一段と高まっています。

考古学部 (41)

部員も増加し、遺跡に関する資料収集、古墳の見学、埴輪の製作などと充実した活動を行っています。

茶道部 (61)

多数の新入部員を迎え、賑やかにスタートしました。北志賀の合宿では、ゆかたの気付けも加えてみっちりとお点前に取り組みました。

写真部 (6)

新入生歓迎ハイク校内写真

展、埼玉会館に於ける高写真展と研修会、柏樹祭写真展と積極的に活動中。

書道部 (3)

少数ながら毎日練習に励んでいます。毎年数々の書道展に上位入賞しており、レベルの高さでは県下に名をとどろかせています。

新聞部 (22)

部員も三倍以上となり、「HONKOTIMES」もほぼ定期的に発行できるようになりました。早く『本庄高校新聞』（フランクセット版）の伝統にたち返ろうと、部員一同奮闘中です。

吹奏楽部 (45)

定期演奏会、コンクール、柏樹祭コンサートなど、演奏の機会も多く、毎日一生懸命練習しています。

生物部 (3)

大久保山でエナガなどの観察をしています。夏はメソソムシクイの声を求めて富士山へいつてきました。

地学部 (29)

毎日の太陽観測をはじめ、流星、気象、地質と多分野にわたり地道な研究を積み重ねています。夏休みには長野で

天体観測を行いました。

電気部 (41)

活動の中心はパソコンソフト（クイズ、音楽演奏等のプログラム）の制作。余りにもコンパクトで目だたず、わかりにくいのですが、そこには大変なエネルギーが凝縮されています。

図書部 (6)

今年度は万葉集を中心に碑めぐりなどを行いながら活動しました。少人数ながら文化祭にも研究成果を発表しました。

美術部 (33)

毎日放課後絵画製作を主とした活動し、作品の発表は文化祭の他に六月と二月の二回校外展を市民ギャラリーに於て開催しています。その他、県展、麓原展等にも多数を出品しています。

文芸部 (21)

文化祭に毎年恒例の詩集を発行。展示は「不思議の国のアリス」をテーマに展開する詩を発表。一、二年生が力を合わせて頑張っています。

運動部

硬式テニス (男子51)

新人戦（県北）でシングルス・一・三・四位を、ダブルスでは二・三位を占め、県大会にシングルス七名、ダブルス四組を送るようになりました。

コートが不足して練習が十分にできないのが悩みのタネ。

硬式テニス (女子20)

8月に行われた新人戦では予想をだいぶ下回った成績で終了、県大会出場者が皆無でした。

柔道部 (男子16)

現在、3学年が引退し、部員の数も少なくなり、練習にも苦労しています。土曜などは北校に行つて合同練習などを行い、基本的練習に励んでいます。

水泳部 (男女19)

県北大会では入賞者が多数ですが、県大会はレベルが高く、入賞できないのが残念です。部員は水泳を楽しみながら練習しているようです。

スキー部 (男女11)

初心者から中・上級者まで色々ですが、関東大会、インターハイ、国体を目指して毎日トレーニングに励んでいます。冬場、遠征が多いため勉強が遅れがちになりますが、頑張ります。

ソフトボール部 (女子18)

人数の関係ですぐレギュラーになれてしまつせいか、公式戦ではなかなか勝てません。少しずつレベルは上がっています。なるべく早く県レベルで戦えるチームにしたいです。

体操部 (男子10)

一年生が5名入部、全員体操未経験者。5月連休の合宿、夏合宿と早くも合宿練習を二度体験。熱心に練習をこなしています。県大会では、総合9位でした。中学校で体操部がもつとあつたらと常々思っている。

昨年あたりから、部員の「試合に向けて練習しよう」という気力が充ちあがえる。中心は2年生部員、一年生も8名入部、熱心である。夏合宿も大学からコーチを呼び盛り上がった。

卓球部 (男女16)

春の県北大会では、国体、ダブルスが男女共に3位入賞。男女全種目県大会出場を果たし、意気揚揚として練習に励んでいます。新人戦の活躍を期待して下さい。

登山部 (男女7)

年間20日程の山行。北アルプス、尾瀬、谷川岳、飯豊山、奥秩父等。他に生徒大会に参加。

軟式テニス部 (男女33)

男子県北新人戦団体戦に於て久しぶりに決勝まで進出しました。決勝戦では熊谷高校と対戦し、惜しくも1：2で負けました。女子も団体戦で活躍し、県大会に進出しました。

サッカー部 (38)

公式戦、練習試合、招待試合とたくさん試合をこなしながら力を付けてきています。最近では地域のサッカーの中心としても活動をしています。

バスケット部 (男子26)

顧問がバスケット経験なしですが、練習、試合すべて生徒の力で頑張っています。部活動にも勉強にもまじめに一生懸命取り組む者たちばかりで、県大会を目指しています。

バスケット部 (男子26)

顧問がバスケット経験なしですが、練習、試合すべて生徒の力で頑張っています。部活動にも勉強にもまじめに一生懸命取り組む者たちばかりで、県大会を目指しています。

バスケット部 (女子28)

一年生が大量14名入部し、活気がでてきた。県北大会では本庄女子・児玉などシード校を連覇して準優勝した。今後は県大会でも通用する力をつけ、上位進出をめざして頑張りたい。

バレーボール部 (男子8)

練習試合や普段の練習を積み重ね、徐々に力を付けつつある。11月の秋季大会、2月の新入大会に向けて少人数ながら努力している。

バレーボール部 (女子27)

関東大会予選県北ベスト4、県体出場、インターハイ予選県北ベスト8、国体予選県北ベスト8。現在、チームも新人に切り替え、新人戦上位進出を目指し、毎日練習に励んでいます。

ボクシング部 (男子15)

第44回国体ボクシングで、埼玉県チームは念願である総合優勝を果たし、フライ級で出場した倉林直也選手は準々

ボクシング部 (男子15)

第44回国体ボクシングで、埼玉県チームは念願である総合優勝を果たし、フライ級で出場した倉林直也選手は準々

柏陵消息



ときの流れの
中にも

石田 祐寛(高13卒)

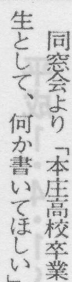
子供がお世話になっており
母校を訪れる機会が多くなり
三〇年前を懐しみながらも、
当時の様相が一変してしまっ
たさまに目を見張ってながめ
ております。

大正年間の特色をそのまま
伝えた木造校舎、旧講堂には
大きなモノクロテレビが備え
られ、日本を開催地としてく
りひろげられていたアジア大

会に熱い声援をおくったこと
現在の格技室は当時の近代技
術に支えられ、つち立高らか
に新築途上、たしか西鉄ライ
オンズ(現西武)が巨人に三連
敗の後、奇跡の四連勝を成し
遂げ「神さま、仏さま、稲尾さ
ま」と細い目をトレードマー
クにサイちゃんの愛称で親し
まれた鉄腕稲尾が出現したの
もこの頃でした。

人生は、何が
幸いするか
わからない

塩原 博子(定18卒)



同窓会より「本庄高校卒業
生として、何か書いてほしい」
との電話を受けた時、「え、
私が。私は本庄高校卒業とい
つても定時制ですよ」と、私
の心の中には、今でも昼間行
けなかったことへの後悔があ
るようだ。昼間の人さがさな
らと言って校門を出る時、校
門へ入っていく自分に恥ずか
しさを感じたことを覚えてい
ます。

家庭の事情で定時制へと決

またた時、もうすでに沖電気
エーザイの就職試験は終わっ
ていた。幸い母校・本庄中学
(現西中)の事務員に内定し
ていた人がとりやめ、私が働
けることになった。今は亡き
宮下先生が校長先生でした。
「しっかりやりなさい」と励
まされたことを覚えています。
吉川先生、川崎先生、事務長
の田島先生、先輩の皆さん、
西中の先生方、たくさんの人
達に支えられて短大へも行か

グラウンドの東側を南北に貫
く桜並木が、いつの間にか西
側のいちょうが取ってかわっ
た光景にもときの流れを感じ
ます。県北の雄として質実剛
健を旨とした校風は、この受
験競争のまっただ中で居ここ
ちのよい楽しい学生生活とし
て形を替えて受け継がれてい
ます。そんな体質をいぶかし
がる先輩や父兄もあるようで
すが、失敗しても長い人生、
いつの時から自分を悔い、そ
れをバネに、さらに想い出を糧
に立ち上るパワーのある後
輩たちであることを信じて、
桜がいちように変わっても、
本高のシンボルは一つです。
(円心寺住職 本高PTA役員)

せてもらえました。そして小
さい頃から憧れていた職業に
つくことができました。

もし何もかも昼間の高校へ
行っていたら、多分教師にな
らなかつたかも知れない。

この定時制での体験が、現
在の私に大きなプラスとなり
ました。主人にもめぐり合え
るとして、一男二女の母とな
りました。

学校では、大勢の子供達と
独身気分がワイワイと過ごし
家では「母親業もしつかりや
りなさい」と我が子に言われ
ている今日この頃です。
(本庄旭小学校教諭)

新年懇親会

2月17日(土) 午後
本庄市・五州園 午後4時
支部長会議 午後5時
懇親会 午後5時
会費 3,000円
申込 1月25日迄同窓会
事務所に申込ん
下さい。

平成2年度総会

6月16日(土)
午後3時
本庄市埼玉グラン
ドホテル
総会、記念音楽会、親睦会
親睦会 (希望者)
会費 3,000円

(二面から続き)
決勝で惜敗し、第5位に入賞。
インターハイではバンナム級
で第3位入賞。
野球部(男子37)
部員数も増えグラウンドに活
気が出てきた。創立70周年に
向けて、闘志ある野球を身上
に精一杯の努力と根性で念願
である甲子園出場を勝ちとり

たい。
陸上競技部(男女31)
3年生(西村 繁)が三段
跳びで北関東大会出場。県新
人陸上大会に向けて、猛練習
をしています。
高校駅伝などでも、近年にな
く選手がそろっているの
で、上位入賞をねらっています。

支部役員

(支部長)

教職員	沖電氣	エーザイ	本庄市役所	東京	新町	伊勢崎	県庁前	熊谷	深谷	岡部	寄居	上里	神川	神泉	美里	児玉	今井	北井	旭	藤田	朝日町	諏訪	末広	南本	照本	台町	本町	七軒町	上野	仲町	泉町	宮本	本庄連合
卜部	小沢	春日	黒田	富田	山口	小此木	高橋	西村	清水	茂木	朝比奈	荒井	戸谷	新井	春山	吉田	岡岸	戸塚	橋本	荻野	内藤	井上	坂本	村田	飯野	松本	鈴木	町田	境野	中田	竹並	栗村	立川
義典	徹之	仲康	達雄	三郎	仁一	英二	茂雄	實	肇	利雄	次雄	久衛	從信	一三	建治	鶴五郎	義久	泰和	顯	清	明	昌幸	敬信	敬一郎	利衛	敬一	清司	一徳	登	脩一	龍男	大作	中9
高1	高13	高5	定2	中4	中14	中23	中20	中17	中19	中14	中9	中11	中15	中3	高3	高2	中10	中11	中3	中8	中3	中22	中22	中19	中21	中5	中2	中19	中2	中16	中9		

終身会費納入についてお願い

親愛なる同窓生の皆様、私達は母校への寄与貢献と
会員相互の親睦向上を念願に努力しておりますが主たる
基礎財源は終身会費(老万円)を主としてしています。
未納の方の御協力をお願い申し上げます。
終身会費ご納入の際には左記口座にご入金下さい。
郵便局振込口座番号東京三十一八七〇二〇、又は埼玉
銀行普通預金口座番号本庄一八九一〇七七七三
本高同窓会役員一同

終身
会費 納入者芳名 (卒年別)

平成1・4・11 平成1・11・30

中17 星 慶岳
中19 清水 實・真下 章
中20 飯島昭二・芝崎 健
中22 中庭照善
女11 小森谷清江
高1 福島聖二・横堀通利
高2 須永キヨ子・亀田登一
栗原泰治・関口謙一・中島省
吾・早野美知男
高3 荒井稀索・新井静司・
伊藤久雄・大野木哲・栗田政
雄・松尾光子・境野広子・山
口直子・清水朝子・高橋富貴
男・田中和雄・大野木美恵子
三友敏男・山下 巖・須藤茂
高4 村田梅子・大野みつ江
柳沢幸代・久米桂子・岡田保
夫・尾崎武之・久保田賢一・
山中玲子・小岩井実・塚越京
子・坂上良樹・塩原一郎・山
岸悦子・清水陽太郎・関口て
い子・関口 繁・高柳和子・
田島 誠・福地健太郎
高5 阿佐美勲平・小宮栄子
金井久夫・栗田多聞・黒沢武
夫・藤野綾子・島田孝三・清

特別芳名

昭和34・3卒、43・3卒迄

今回は高11・定10・別7、高20・定19・
別11までの方全員に会報を送りますので
会費納入者もその間全員を掲載します。

川合 功・久保英光・栗原俊
雄・坂上貞夫・相原静子・安
藤八重子・高山悦子・春山麗
二・寺本美知枝
高10 丸山良子・伊東尊司・
小暮栄治・小安洋子・小柳喜
政・山田 稔・都丸茂二・中
沢幸雄・増田圭子・浅田経子
原口洋輔
高12 新井行雄
高15 嶋田留美子
高34 吉野貴志
定2 相川六郎・鈴木三吉・
須藤達朗
定3 内田寛一・増野 忠・
石川富枝
定4 織茂 明・永野 栄・
藤井一雄
定5 笠本達明・木村利男・
小林勝治
定7 橋本 実・堀地恒雄・
町田 守
定8 日向 進
定9 飯島徳三・高柳弘子・
塩原喜平・高月 昇・渡辺俊
彦
高38 中島栄一・小柳 徹・
矢島史章
高39 長竹雅子・小暮正之・
根岸英志・萩原 徹
高40 高橋小織・福島大輔
特別寄付 中7 高橋美典
高14 塩原尚枝 戸森清子 伊倉且典
入 利雄 中原幸子 牛久保敬一
内田作治 内野重利 今仁厚子
真下恵美子 金井由美子 菊地 隆
井田君子 荻野恵子 小暮勝良
富田百合枝 塩原 勝 清水俊彦
三浦イサヲ 戸谷洋一郎 富田英夫
小野英彦 大沢洋子 並木初江
深澤信一 中原きみ子 松本洋子
大塩都代子 丸山 勇 宮部 彰
茂木勝一郎 吉田俊子 森 範昭
松本由江
高15 江原徳江 大木忠孝 大沢秀男
大竹範夫 横関洋子 橋本朝光
吉田真紀子 金子一男 小川圭子
野本勝子 嶋田留美子 畑中利子
坂本 潔 塚間洋子 福島道夫
須藤美恵子
高16 渡部満子 長井美津子 久保敦義
小林玉枝 設楽保男 杉山悦子
瀬間義信 矢沼公枝 宮本幸子
木村幸子 山田和彦 大橋正子
高17 飯島弘子 石川衛之 菅沼悦子
尾崎志津子 上野正文 小沢鋭男
内田八千代 門倉憲夫 新井克恵
小暮浩一 小林照行 斎藤弘取
鹿田 勇 杉上 昇 高橋脩也
塚越純子 鈴木弘子 野沢光子
萩原敏夫 永野史代 金子園子
前田修一郎 松本真明 高橋良子
高18 伊久間邦夫 岩上雄作 落合誠一
富沢峰雄 門倉英幸 亀田能紀
川上芳男 幸田優二 笹井 均
鈴木章三 高橋敏夫 渋谷絹恵
田中茂夫 井上富美枝 田中靖夫
田野美代 鳥羽 登 早川慎一郎
林 常枝 村野知恵子 福田利子
星野武男 塩原正明 矢崎 永
金子房枝 西沢玲子 吉田敬一
高19 荒井登志雄 遠藤美恵子 今井 勉
植原育雄 内田規晴 恩田高治
村山俊子 古指輝次 小暮和雄
駒沢文雄 小谷野博 清水一夫
中村ミネ子 相馬義一 高木 哲
高橋徳一 大沢よし子 手計京子
堀込茂正 小林令子 丸岡昇三
南 敏雄 柳田孝二 黒沢恵子
山崎梅子 丸橋和枝
高20 新井邦洋 坂本清美 大谷謙史
大塚一男 門倉 実 萩原敏子
小林和雄 桜沢恭治 佐藤雄司
塩原 博 島崎俊明 清水英夫
鈴木律子 柿沢治男 田島祥治
中沢広志 葛和真澄 中西 守
中野修一 長野幸三 平野すみ子
古内由紀子 宮沢富雄 目黒輝久
定10 金井照季 高村真三 田島奈々子
定11 金井文太郎 設楽正春
定12 尾崎志津子 小沢鋭男
野木英幸
定14 坂上思正 山口丈男
定16 大塚 宏
定18 池田修爾 大場正明 小林正夫
中沢 敏
定19 大塚 実 豊田朱実 塩原 豊
別8 井草光子